



File 5

【 学校栄養士 】

令和6年度採用 1年目
安足地区(佐野市) 勤務

○ 学校栄養士を目指したきっかけ、業務内容

学生時代に勉強していた頃や栄養士になってから研修などを受ける中で、「学んだことは発信しないと意味がない。」と思いました。私は、食の選択をする機会がだんだん増えてくる児童期・思春期の子供たちに、食の大切さを伝えて、学んだことを将来に生かしてほしいと思っています。そのために、食に関する指導を行いたかったので、学校栄養士を目指すようになりました。

現在は、念願の食に関する指導の授業を実践することや、栄養管理、衛生管理、物資管理などの幅広い業務を先輩栄養士と分担して行っています。



○ 印象深いエピソード



私の初めての食に関する指導の授業は「好き嫌いしないで食べよう、野菜の話」という小学1年生の授業でした。ずっとやりたかった授業でしたが、実際はとても緊張しました。たくさん練習をし、担任の先生、児童たちにも助けられて、無事終えることができました。

少し経ってから1年担任の先生に、「子供たち『野菜は大切だから食べなきゃね』と言いながら頑張ってるよ。」という話を聞き、授業の内容が子供たちに伝わったことや給食が生きた教材となっていることがうれしくなりました。改めて、これからも食に関する指導を頑張っていきたいと思いました。

○ 職場環境や研修体制、今後の目標

月に1回程度、初任者が集まって研修が行われます。栄養士としての研修はもちろんですが、公務員としての姿勢も教えていただくことができます。研修担当の先生方は、とても親身になって相談に乗ってくれたり、課題解決のヒントもたくさん示してくれたりします。学校栄養士は一人職とも言われますが、周りには頼れる先輩方ばかりです。

今後は、現在勤務している給食センターの業務をとおして、学校栄養士としての仕事をよく学び、いつか「栄養教諭」になれたらと思っています。



○ 学校栄養士を目指す方へのメッセージ

学校栄養士に限らず、栄養士は責任をもってやらなければいけない仕事です。アレルギー対応など、命にかかわる業務もあります。楽な仕事ではないですが、やりがいがあります。また、給食を食べてくれる児童生徒や先生方に、「いつもおいしい」「給食が毎日の楽しみ」などと言ってもらえることがとても励みになります。

給食は、児童生徒が学校に登校する理由になるくらい、学校生活には欠かせないものになっています。

学校栄養士を目指している栄養士さん、興味はあるけどなかなか一歩が踏み出せない栄養士さん、私たちと一緒に、食をとおして子供たちの成長を支えてみませんか。



＼ 学校栄養士のとある1日 / (※勤務時間は参考例です。)

8:00	出勤	
8:00～ 8:40	調理場内の見回り、当日納品の検収作業 等	
8:40～10:00	献立表、給食だより等の配付物の作成 各学校の人員管理(欠食数の確認等) アレルギー対応児童生徒に関する業務 授業:食に関する指導(各学校)	○担当エリア13校分の児童生徒の給食管理(約4,000食)を行っています。
10:00～10:40	調理場内での出来上がり確認(量・味 等)	
10:40～12:00	配付物の作成、各学校の人員管理 授業:食に関する指導(各学校)	○給食を配送している学校の各学級で年1回、食に関する指導(授業)を、3名の職員で分担して行っています。
12:00～13:00	昼休憩	
13:00～14:00	検収作業	○各学校に行き、配膳の様子を確認したり、食に関する指導の一環として、学年に応じた食材に関する話をしたりすることもあります。
14:00～16:45	食に関する指導・給食指導の準備、物資管理、献立原案作成 職員打合せ(週1回:調理方法、アレルギー対応等の確認)	
16:45	退勤	